

爲カ公益ヲ害ス可シト政府ノ認メタリシ其行爲ヲ指摘シ明示セラレンコトヲ望ム
右成規ニ據リ提出候也

國務大臣ノ答辯要領ヲ得サルニ因リ再質問書

明治三十五年三月三日

提出者 菅野善右衛門

贊成者 寺田彦太郎
外三十一名

國務大臣ノ答辯要領ヲ得サルニ因リ再質問主意書
鐵道ノ風災調査ニ關スル顛末ヲ查覈シ更ニ鐵道列車風災豫防ノ法律ヲ制定
セントスルノ必要ニ因リ之レカ質問主意書ヲ提出セシニ豈ニ圖ランヤ政府
ノ答辯更ニ其要領ヲ得遺憾ナカラ何等ノ参考ニモ供スル能ハス事實ヲ更
ニ質問スルノ止ムヘカラサルニ至ル

第一 明治三十四年十二月十九日提出ノ質問書第三項第四項ニハ風災豫防
方法調査委員ノ審議討論ヲ盡サレシ速記ヲ明示セラレタシ若シ速記ナシ
トセハ疑點ノ益氷解シ能ハサルモノアリ何ソヤ風災豫防方法ノ調査ニシ
テ萬一二セ誤謬ニ渉レルカ如キ事アラシメハ暴風ノ爲メ汽車ハ何時如何
ナル場所ニ顛覆シ一瞬時ニシテ數多ノ人命ヲ無惨ニモ失ナハシムルニ至
ルヘキカ其關係ノ至大ナル調査ニ如何ナル理由ノ存スルヨリ速記ヲ備ヘ
ラレサリシカ其理由詳細明示セラレシトノ質問ニ對シ
明治三十五年二月二十六日ノ答辯ニ依レハ特ニ速記ノ必要ヲ認メサリ
シヲ以テ別ニ速記ヲ調製セストノ答ナレトモ

第二 質問書第五項風災豫防方法調査結了ノ結果ニ基キ全國官私鐵道鐵道
職員ニ風災豫防方法ヲ達セラレタルコトナラン其文案及年月日ヨリ詳細
明示セラレタシ及第六項風災豫防方法調査委員ノ調査セラレタル結果ニ
基キタル風災豫防ニ關スル達等未タ發セラレサリシナランニハ何等ノ理
由ノ存スルヨリ發セラレサリシカ其理由詳細明示セラレシコトヲ要求セ
ルモノナルニ

國務大臣ノ答辯ニ依レハ更ニ該質問ノ旨趣ニ應セラル、處ナシ其求メ
ニ應セラレサル理由如何
尙本政府ニシテ國ヲ益シ世ヲ益スルノ方針アラハ速ニ其ノ詳細ヲ明示
セラレタレ

第三 質問書第七項ニハ風災豫防方法調査ニ關スル顛末ヲ世ニ公ニシ汎ク
一世人ノ參考ニ供シ世人ヲシテ共ニ灾害ヲ豫防セシメンニハ百ノ益アルモ
一害ナカルヘシ然ルニ如何ナル理由ノ存スルヨリ之ヲ世ニ公ニセラレサ
リシヤ其頗未詳細明示セラレタシトノ質問ニ對シ

國務大臣ノ答辯ニ依レハ特ニ世ニ公ニスルノ必要ヲ認メサリシト
之ヲ世ニ公ニシテ汎ク世人ノ参考ニ供シ世人ヲシテ之ヲ講究セシメ共
ニ灾害ヲ未然ニ防止セシムルノ特ニ必要ヲ認メラレサリシ理由如何
大臣ノ答辯書ニ依レハ

鐵運第二六三號ハ鐵道作業局運輸部汽車部ニ於テ單ニ部員ノ心得ノ
第四 國務大臣カ神聖ナル衆議院ヲ欺キタル事件ニ關スル質問ニ對シ國務
大臣ノ答辯書ニ依レハ

鐵運第二六三號ハ鐵道作業局運輸部汽車部ニ於テ單ニ部員ノ心得ノ

第五 前項ノ達示ハ當時鐵道作業局運輸日報ニ之ヲ掲示セリ毫モ之ヲ掩蔽
シタルコトナシトノ答辯ナレトモ
第十四議會ニ於ケル衆議院ノ質問ニ對シ從來ノ灾害豫防ニ關スル注意
等明答セラレサリシハ衆議院ヲ欺キ掩蔽セラレタルニアラスシテ何ソ
尙明治三十一年九月鐵工第一九五八號非常警戒心得概要ヲ明示セラレ
サリシハ衆議院ヲ欺キタルニアラサルカ之ヲ明示セラレサリシ其理由
如何

國務大臣ノ答辯要領ヲ得サルニ因リ再質問理由書
質問主意書ニ明カナルヲ以テ之ヲ略ス
足尾礦毒ノ人命ニ及ボス危害ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年三月三日
提出者 鈴木萬次郎
贊成者 蓼沼丈吉
外二十九名

足尾礦毒ノ人命ニ及ボス危害ニ關スル質問主意書

外二十九名

第一 政府ハ曩ニ已ニ同礦物分析表ニ於テ該礦物百分中○、○七ノ猛毒ナ
ル砒素アルヲ熟知シ居ルニ係ラス何故ニ内務省ハ技師ヲシテ單ニ銅毒ノ
人身ニ及ボス危害ノミノ調査ヲナサシメ砒素ノ調査ヲナサシメサリシヤ
第二 政府ハ比較的毒性ノ輕弱ニシテ且ツ中毒症狀モ亦明瞭ヲ缺ケル銅毒
ノ調査ニ重キヲ置キ却テ猛毒トシテ著名ナル既ニ大人ニ於テモ○、○一
(二毛六朱)ノ分量ニ於テ急性中毒症ヲ起シ○、一五(四厘弱)乃至○、三
(七厘八毛)ハ致死ノ力アル猛毒物砒毒ノ調査ヲ等閑ニ付シ去リシヤ
第三 政府ハ日本藥局法ニ於テ一回ノ極量○、○○五(二分六厘)ノ二百分
一(一)日ノ極量○、○二(一分六厘)ノ五十分ノ一ト定メタル如キ又藥品取
扱規則第二十九條ニ於テ鎮鑰ヲ備ヘタル場所ニ貯藏スヘキコトヲ命シ同
三十一條ニ於テ一定式ノ證明書アルモ幼稚ノ者等ニハ容易ニ交附スヘカ
ラスト規定セル如キ劇毒藥中ノ首位ヲ占ムル猛毒物砒素ノ被害地土壤中
ニ多量ヲ含有スルモ猶人命ニ危害ナシト認ムルヤ

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リスルコトガアリ
マス、委員長ノ瀧口歸一君カラ、唯今ヨリ決算委員會ヲ開キタイ、豫算委員長石田
委員長ノ瀧口歸一君カラ、唯今ヨリ決算委員會ヲ開キタイ、豫算委員長石田
ト云フ申出デアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、其外決算
委員長ノ瀧口歸一君カラ、唯今ヨリ決算委員會ヲ開キタイ、豫算委員長石田
ト云フ申出デアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
貫之助君カラ、唯今豫算委員會ヲ開キタイ、委員長長坂重孝君カラ、鐵道敷

設法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、各許可シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ 許可スルコトニ致シマス——東良二郎君

〔東良三郎君演壇ニ登ル
三郎君（百二十二番）

來ナイノミナラズ、日々其司法官ト云フモノノ、辭職者ガ多イ、全國ニ瓦ツテ司法官ノ更迭ハ數多アル、更迭ガ數多アルカラシテ、各支部ニソレダケノ定員ヲ置クコトガ出來ナイト云フ、此主トシテ配置ノ都合ト云フコトガ、支部ヲ廢止スルノ標準ト爲シテ居ルノデハナイカト思フ、果シテサウデアリマスレバ、人間ガ足ラナイカラ、支部ヲ廢スルト云フコトナラバ、是ハ已ムヲ得ヌ話デアリマスガ、已ムヲ得ヌ支部ヲ廢スルト云フコトナラバ、矢張先キニ申シタ二ツノ主義、即チ訴訟ノ少イ所、比較的便利ナ所此二ツノ主義ニ基イテ、適當ナル場所ノ支部ヲ廢シタ方ガ宜シイト、私ハ信ズルノデアル、人間ガ少イカラト云フテ不便ナ所ノ場所、或ハ訴訟事件ノ多イ所ノ場所ノ支部ヲ廢スルト云フコトハ、如何ニモ人民ノタメニ不公平ナル事柄デアルト考ヘルカシテ、ドウ云フ理由ニ依シテ支部ヲ廢サレテ居ルノデアルカト云フコトヲ、質問スルノガ第一、モウ一ツ序ニ尋ネテ置キマスルノハ、私ノ考デハ、地方裁判所ノ支部ト云フモノハ、殆ド十二八九廢シテ宜シイカノ如キ考ヲ持シテ居ル、若シ公平ニ之ヲ廢スルト云フコトニナレバ、成ルベク裁判所ハ大キイ所ヘ置イテ小サイ裁判所ヲ山ノ中ニ置クト云フト、弊害モアリ、又交通ノ少イ所ハ、智識ノ發達モ乏シイノデアリマスカラ、裁判官ガ山ノ中ニ隠レテ居ルト、停滞不流デ學問上ノ進歩ヨシマセヌシ、又交際モ少イカラ、益裁判官ノ脳髣ガ腐敗シテシマフ、故ニ山ノ中ノ地方裁判所ノ支部ト云フモノハ、成ルベク之ヲ減シ、成ルベク之ヲ廢止スルガ良法ニアラウト思フ、殊ニ鐵道ノ便利ガ開ケ、交通ノ機關ガ十分ナル今日デハ、漸次此支部ト云フモノハ廢止スル方ガ宜シ員會ニ、司法大臣カラ多少話モアリマシタガ、私ハ此司法大臣ニ尋ネタイ議論モアリマスケレドモ、是ダケデ略シテ、唯質問ノ要領ダケヲ述ベテ置キマスガ、各々許可シテ御異議アリマセヌカ
ス
○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御諮リスルコトガアリマス、委員長金井貢カラ酒類造石稅納期ニ關スル件ノ委員會ヲ、唯今ヨリ開キタイ、委員長奥繁三郎君カラ河川法中改正法律案ノ委員會ヲ唯今ヨリ開キタイト云フ申出ガアリマスガ、各々許可シテ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス
○西谷金藏君(二百八十一番) 日程ニ入ルニ先ツテ、一言私ハ質問ノ答辯ニ關スルコトデ、申述ベタイコトガゴザイマス、本員ハ一月六日ニ第一期鐵道ノ完成ニ關スル質問書ヲ提出致シテ置キマシタ、其後二十餘日ヲ經過スルノ今日ニ至ルモ、尙ホ答辯ガゴザイマセヌ、然ルニ一方ノ方面ヲ見マスレバ、私設鐵道ヲ買收シ、私設線ニ更ニ補助ヲ與ヘルト云フ計畫ヲ爲シテ、議會ニ追加豫算トシテ請求ヲセラル、ニモ拘ラズ、一期鐵道ニ對シテハ、未だ何等ノ始末ヲ爲サルノミナラズ、質問ニ對スル答辯スラ爲サルハ、甚ダ緩慢ナル處置ト考ヘマスカラ、此際議長カラ速ニ答辯ヲ爲スヤウニ、督促アランコトヲ希望致シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御詰リスルコトガアリマス、委員長金井貢カラ
酒類造石稅納期ニ關スル件ノ委員會ヲ、唯今ヨリ開キタイ、委員長奥繁二郎
君カラ河川法中改正法律案ノ委員會ヲ唯今ヨリ開キタイト云フ申出ガアリマ
スガ、各々許可シテ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ。

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御諮リズルコトガアリマス、委員長金井貢カラ
酒類造石稅納期ニ關スル件ノ委員會ヲ、唯今ヨリ開キタイ、委員長奥繁三郎
君カラ河川法中改正法律案ノ委員會ヲ唯今ヨリ開キタイト云フ申出ガアリマ
スガ、各許可シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス
○西谷金藏君(二百八十一番) 日程ニ入ルニ先ツテ、一言私ハ質問ノ答辯ニ
關スルコトデ、申述ベタイコトガゴザイマス、本員ハ一月六日ニ第一期鐵道
ノ完成ニ關スル質問書ヲ提出致シテ置キマシタ、其後二十餘日ヲ經過スルノ
今日ニ至ルモ、尙ホ答辯ガゴザイマセヌ、然ルニ一方ノ方面ヲ見マスレバ、
私設鐵道ヲ買收シ、私設線ニ更ニ補助ヲ與ヘルト云フ計畫ヲ爲シテ、議會ニ
追加豫算トシテ請求ヲセラル、ニモ拘ラズ、一期鐵道ニ對シテハ、未だ何等
ノ始末ヲ爲サルノミナラズ、質問ニ對スル答辯スラ爲サルハ、甚ダ緩慢
ナル處置ト考ヘマスカラ、此際議長カラ速ニ答辯ヲ爲スヤウニ、督促アラン
コトヲ希望致シマス

ドモ、萬已ムヲ得ズシテ、再ビ此問題ヲ述べンケレバナラヌト云フ始末
デゴザイマス、唯ソレバカリデハゴザイマセヌ、先キニ本員ガ此問題ニ附イ
テ質問書ヲ出シマシタトキヨリハ、尙ホ一層モ二層モ緊急切實ニ致シテ、且
ツ人命救護ト云フ上ニ就キマシテハ、半日モ片時モ捨置クコトノ出來ナイト
云フ事實ヲ、發見シマシタノデゴザイマス、否ナ、此事實ガアルノデゴザイ
マス、ソレハ何アルカト云フト、古來ヨリ猛烈ナル最モ恐ルベキ毒物トシ
テ、知レ渡ツテ居リマスル所ノ砒素ト云フモノガ、被害地ノ大部分ニ於テ、其
土壤中ニ澤山含マレテアルト云フコトデゴザイマス、是ハ去月ノ一十五日
ニ、農科大學ノ教授長岡宗好豐永眞里ノ兩氏ガ、東京控訴院ニ向ツテ鑑定書
ノ追加トシテ、差出サレマシタ所ノ書ニ、明確ニゴザリマス、其證スル所ニ
依リマスレバ「一般臨檢採集ノ供試材料ニ於テモ、亦砒素ノ存在スルモノアル
ヲ確認セリ其含量百万分中ニ七以上ニ達スルモノアルノミナラズ銅分含量ノ
大ナルニ準シテ存在スルコトモ又多シソレ砒素ノ植物生育ニ對シテ毒性ノ猛
烈ナルハ明瞭ニシテ學術上ノ研究成績ハ之ヲ證スルモノ少シトセス云々」亞
砒酸ノ含量一百万分ノ一ニシテ、既ニ諸種ノ植物ヲ枯死セシムルノ事實ヲ發
見ス、是レ百万分中ノ一ガゴザイマシテモ、植物ヲ枯ラスト云フノ力ガア
ル、又一百万分中ニ六分ニ相當スル亞砒酸ハ、九十六時間以内ニ麥ヲ全ク
黄ス、百万分ノ中ノ一、六ゴザイマシテモ、猛烈ナル毒物デゴザイマシテ、醫
ヲ黃色ニ變シテシマフ所ノ力ノアル毒物デアル云々、其要ヲ摘ミマスレ
バ、植物ニ對シテ甚シイ毒物デアルト云フコト斯ノ如シ、是ト同時ニ矢張動
物ニ對シテモ、即チ人類ニ取リマシテモ、猛烈ナル毒物デゴザイマシテ、醫
者ガ薬剤トシテ用ヒマスル藥品ノ中デモ、亞砒劑ト云フモノハ、最モ劇藥毒
藥中ノ第一位ヲ占ムルモノデゴザイマス、其用ヒマスル分量ハ、日本藥局
方ノ定ムル所ニ依リマスレバ、一回ノ極量ハ一分六厘六毛ヲ二百ニ割リマシ
ターツデアル、二分六厘六毛ト云フ、恐ク少イノヲ、一百ニ割ツターツガ、日
本藥局方ニ定ムル所ノ極量デアル、左様ナ少イ分量ハ、肉眼ヲ以テ見ルコト
ノ出來ナイ程ノ少量デアル、諸君モ御承知デゴザイマセウ、彼ノ昔アッタト
云フ那須野ガ原ノ殺生石、是ハ人ガ傍ヲ通りマシテモ人ガ死ヌ、上ヲ鳥ガ飛
ビマシテモ鳥ガ死シテ落チルト云フ、恐ロシイモノデアッタ、之ヲ探ネマス
レバ、全く此石ニハ砒素ヲ含シテ居シタト云フコトデゴザイマス、旅人が知ラ
ズシテ此石ニ息ヒ、此石ニ近寄リ、知ラズ識ラズ手ヲ觸レ手ヲ舐メテ、直チニ
死シダト云フ恐ロシイモノデアルカラ、傍ヲ通ツテモ死ヌモノデアル、上ヲ飛
シテ死ヌモノデアルト、之ヲ深ク戒メラレタル結果、斯様ニ言觸ラシタノデ
アラウト思ヒマス、又私ガ嘗テ之ヲ聞キマスルニ、何時ノ頃デゴザイマシタ
カ忘レマシタガ、露西亞ノ新皇帝陛下ハ、一種不可思議ナル病氣ニ罹ラレマシ
テ、漸々氣ガ衰ヘ、顏色ハ窶レ、手足ハ痛ミ、筋肉ハ痺セ、頭痛ヲ起シ、胸
ニ痛ヲ來シ、食ハ進マズ、夜分ハ眠ラレズ、或ハ時ニ吐キ、或ハ時ニ下リ、種
種ノ病症ヲ起シマシテ、如何ナル病氣カ分リマセヌタメニ、侍醫或ハ近臣ハ
非常苦心研究ニ從事致シマシテ、其結果はハ何カ一ツノ毒物ノ効用アルト云
フ推斷ヲ下シマシテ、或ハ臍部或ハ御召上リ物ヲ、悉ク調査致シマシタ所ガ
分ラズ、到頭其御居間ノ壁ヲ試験シマシタ所ガ、壁ノ中ニ砒素ガ這入ツテ

居タ、是ハ彼ノ恐ルベキ所ノ虚無黨、永ク皇帝陛下ヲ弑シ奉ラント欲シテナラズ、畏レ多クモ壁職工ト爲シテ、壁ノ中ニ砒素ヲ入レテ、御居間ノ壁ヲ塗タト云フコトヲ發見サレマシテ、遂ニ此害ヲ除イテ、皇帝陛下ハ健康ニ復ハ、彼ノ加藤清正ノ毒饅頭ニ於ケルモ、亦砒素デアル、蒲生氏郷ノ死モ砒素デアル、古來ヨリ洋ノ東西ヲ問ハズ、毒殺ト云フコトニ應用シタモノハ、多クハ皆此砒素デアル、諸君、人命ノ價格ノ安イ斬業御免ト云フ封建時代ニ於テ、衛生ノ何物タルヲ知ラザルトキニ於テ、那須野ケ原ノ殺生石ハ、如何ナル方法ニ依テカ、是ハ取除カレマシタ、然ルニ今日ハ人民ノ權利ヲ認メ、利益ヲ代表スル所ノ議ヲ設ケラレタル明治ノ昭代ニ於テ、人民ノ健康ヲ進メ、生命ヲ保タシムルト云フコトヲ以テ、唯一ノ職責デアル、事項デアルト云フ所ノ、堂々タル所ノ専門局、即チ衛生局ヲ置カレテ、而モ其長官ハ勅任官デ、多數ノ屬僚ヲ居カレテ居リマスル今日、此頃恰モ幾百千ノ殺生石ヲ碎キ粉ニ致シテ、家屋ノ周圍ハ勿論、家ノ土間、田畠、到處ニ其毒ヲ散布シテ置クト一般ナル有様、危險ナル情態ヲ拋擲致シテ、更ニ顧ル所ナシト云フ有様デアリマス、土地人民ノ病人ノ多キ、死人ノ多キハ、怪ム所デハゴザイマスマイ、私が同地ニ出張致シマシタ際ニセモ、確ニ眼病人ハ非常ニ多ウゴザイマス、又腸胃ノ消化機ノ惡ルイモノハ、確ニ多ウゴザリマス、砒素ノ毒ハ多クハ眼ニ來ル、或ハ消化機ヲ害スル、或ハ其色ガ惡ルクナル、筋肉ハ瘦セシタ者ノ中ニハ、粘膜ニ潰瘍ヲ生ジテ居ル者モゴザリマシタ、夫レ斯様ニ衰ヘル、若クハ粘膜ニハ潰瘍ヲ生ズル、中ニハ小用ノ中ニ大切ナル蛋白質ヲ出スト云フコトハ、西書ニ書イテゴザリマスガ、私が往ツテ診察ヲシタ者ノ中ニハ、確ニ小用ノ中ニ蛋白質ヲ混ヘテ居ル者モアリマシタ、引取シテ療治ヲシタ者ノ中ニハ、粘膜ニ潰瘍ヲ生ジテ居ル者モゴザリマシタ、夫レ斯様ニ何人ガ往ツテ見マシテモ、同地方ハ死者が多イ、病人ガ多イ、寧ロ悉ク病人デアルト云フガ如キ有様デアル、實ニ憐ムベク又傷心スペキコトデアラウト思フ、加之同地方ニハ前回モ申上ゲマシタケレドモ、到ル處雞犬ノ聲ヲ聞カナシ、偶ニハ一二尾ハ居マスケレドモ、先づ犬モ居ラヌ、鷄モ居ラヌ、雀モ居ラヌ、鳥モ居ラヌ、田ニハ蛙モ居ラヌ、想フニ是等ノ小イ動物ハ、大概此毒ノタメニ死ンダノデアル、人ダケハ生存ヘテ免ニ角病氣ノ儘デモ、未だ哀ケノ間ニ喘ギニミ残シテ居ル、斯様ナ有様デアルノニ、我内務省衛生局ハ何ヲ爲シテ居ルノデアルカ、過日内務省衛生局ハ薬品取締規則ノ改正案ヲ出シテ、不販業禁止ヲサセル、一方デハ多數ノ醫者ヲ罰スル、ソレモ宜カラウ、併ナガノモノ不純ノモノガアルカラ、公衆衛生上之ヲ取締ラナケレバナラスト云フテ出シタ、其心得甚ダ宜シイ、固ヨリ不良ナ薬品ハ取締ラザルベカラズガ、此法案ニ依テ見マスルト、一方ニハ之ヲ取締ルガタメニ、三万餘ノ當業者ヲ真ノ藥ガ多イト云シテ、直ニ木ニ竹ヲ接イダヤウナ法律ヲ出シテ、公衆衛生ヲ取締ル、固ヨリ宜シイガ、若シ公衆衛生ト云フコトヲ重ンジ、前後緩急、本末輕重ト云フコトヲ知ルナラバ、先ヅ斯ノ如キコトヲスルナラバ、内務省衛生局長長谷川泰君、先ヅ此鑽毒ニソシナ暇ヲ以テ足ヲ入レルガ宜シイ、健康ノ

十五、鉛ハ零、一二五、而シテ砒素ハ零、零七、其他銀亞鉛蒼鈷安質母尼晤結爾「コバル」斯ウ云フモノヲ含ムト云フコトハ、實際ニ於テ夙ク既ニ知シテ居ル咎デアル、然ルニ内務省ハ曩ニ技師ヲ當該地ニ派遣シテ、之が取調ヲ爲ト云フ、此砒素、飭ニ對準ニ於キマシテモ零、零一ト申シマスト、二毛六朱一一二毛六朱ノ甚シイ少イ分量ニ於テ、確ニ中毒ヲ起スト云フ砒素、又四厘強乃至七厘弱デゴザイマシタナラバ、確ニ三人ヲ殺スト云フ力アル、此鑽毒ナル砒素、此砒素ニ對シテ、何故ニ内務省ハ調査ヲサセナインデアルカ、サル際ニ於テ、同ジク毒物ト申シマスケレドモ、比較的ニ緩ナル又其中毒症狀モ、多少明瞭ヲ缺クト云フ嫌モアル銅ニ對シテノミ調査ヲサセマシテ、最モ懼ルベキ、最モ惡性デアル、最モ猛烈ナル、而モ中毒症狀ノ明デアルト云フ、此砒素、飭ニ對準ニ於キマシテモ零、零一ト申シマスト、二毛六朱一一二毛六朱ノ憐ムベキ人民ハ、壁ノ中ニ、土間ニ、表ノ庭ニモ、田畠ニモ、寝テモ覺メテモ、間斷ナク毒物ノ中ニ放置サレテ居ルノデゴザイマス、而シテ之ガ救治ヲ求メマスレバ、官吏ハ之ヲ妨ゲツ、居ルノデゴザイマス、是レ明ニ政府モ、地方官モ、當局者郡吏モ、警吏モ、多數ノ人民ヲ間接ニ毒殺スルノ補助ヲ爲スト一般ノ有様デゴザリマシテモ、尙ホ政府ハ調査ニ六箇月ヲ要スルトカ、應急處分ヲ爲ス積デアル杯ト云フ、緩慢ナルコトヲヤツテ居ルノデゴザリマセウヲ賊フモノノデアル、之ヲ教ヘ之ニ權利ヲ與ヘタル所ノ、無辜ノ良民之ヲ殺カ、私ハ内閣ニ向シテ當局者ニ向シテ被害民ノタメニ、又國家ノタメニ、望ムス、何ト申シマセウカ、私ハ默セント欲シテ黙スルコトガ出來マセヌ、夫レ斯様ノ有様デゴザリマシテモ、尙ホ政府ハ調査ニ六箇月ヲ要スルトカ、應急處分ヲ爲ス積デアル杯ト云フ、緩慢ナルコトヲヤツテ居ル所ノ財産ヲ、一日モ早く保護シテ貰ヒタイト云フニ外ナラヌノデゴザイマス、日英ノ同盟ガ成リマカ、ヨリ内閣諸公ノ榮譽、諸公ノ勳功ニ依シテ得ラレタルモノ、私共ハ國家ノシテ、同胞ハ皆杯ヲ舉ゲテ祝シ、各地方ハ皆祝宴ヲ開イテ喜び、内閣諸公ハ所ノモノハ外デハゴザイマセヌ、又豈ニ多キヲ求ムルノデハゴザイマセヌ、今伯爵ト爲リ、子爵ト爲リ、華族ト爲リ、又勳章ト爲ルガ、翻テ被害地ノ有様ヲ見マスレバ、戰々競々、愁雲慘澹、實ニ憫ムベキ極デアラウト思ヒマス、シテ、同胞ハ皆杯ヲ舉ゲテ祝シ、各地方ハ皆祝宴ヲ開イテ喜び、内閣諸公ハタメニ、諸君ノタメニ、既ニ御祝詞ヲ申シタ、之ニ附ケテモ祝サレタル諸公、ハレタル所ノ諸公、御自分ノ御榮譽ナルニ附キマシテモ、少ハ此憫ムベキ被害民ノ有様ヲ、一日モ早ク救濟スル位ナ情ハ起シテ貰ヒタイト私ハ思ヒマス、ソレ故ニ一ハ之ニ關スル疑ヲ内閣ニ向シテ質シ、一ハ本員ノ希望ヲ述ベマスル次第デアル、而シテ其質問ノ要領ヲ述ベマスレバ

第三 政府ハ日本藥局法ニ於テ一回ノ極量〇、〇〇五(二分六厘ノ二百分)

一)一日ノ極量〇、〇二(一分八厘ノ五十分ノ一)ト定メタル如キ又藥品取扱規則第二十九條ニ於テ鎖鑰ヲ備ヘタル場所ニ貯藏スヘキコトヲ命シ同

三十一條ニ於テ一定式ノ證明書アルモ幼稚ノ者等ニハ容易ニ交附スヘカ

ラスト、規定セル如キ劇毒藥ノ首位ヲ占ムル猛毒物ノ砒素ノ砒素ノ被害地土壤

中ニ多量ヲ含有スルモ猶ホ人命ニ危害ナシト認ムルヤ

此三箇條ノ質問デゴザイマス、概要質問ノ要領ヲ述ベマスルコト、斯ノ如シ

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御詰リスルコトガゴザイマス、委員長ノ西谷金

藏君カラ、不動産登記法中改正法律案ノ委員會ヲ、唯今ヨリ開キタイト云フ

申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス——是ヨリ

議事日程ノ第一ニ移リマス、骨牌稅法案、第一讀會ノ續、委員長報告——齋藤

壽雄君

第一 骨牌稅法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(齋藤壽雄君演壇ニ登ル)

○齋藤壽雄君(八十三番) 委員會ノ結果ヲ報告致シマス、此法案ニ附キマシ

テハ、委員會ヲ開キマスルコトガ四回デゴザイマス、種々政府ニ質問ヲ

シ、其材料等ヲ出スコトヲ求メマシテ、慎重ニ審議ヲ盡シマシタ結果、既ニ御

手許ニ上ゲテゴザイマスル通ノ、修正決議ヲ致シマシタノデゴザイマス、デ

此審議中、種々ナル議論ガゴザイマシタ、其一、二ヲ申シマスルト、斯ノ如

キモノニ課稅ヲセヌ方ガ宜イ、即チ本案ヲ否決スル方ガ宜イト云フ說ガゴザ

イマス、又ソレト反對デ、斯ノ如キモノニハ多額ノ課稅ヲスル方ガ宜シイ、

斯ウ云フ說ガゴザイマス、其多額ノ課稅ヲスル方ガ宜イト云フ理由ハ、抑骨

牌ナルモノハ、ズット古イ時代ニハ、大層上品ナ品デアツク、既ニ大内ニ於カレ

テモ、遊戯ノ一トシテ、遊ハレタ品デアルサウデゴザイマス、ソレカラ後ニ

至リマシテ、段々此取扱方ガ變ジテ參シテ、此骨牌ノ使用法ガ變ジテ參リマスル

ト同時ニ、追々下品ナ扱方ニ相成シテ參タラウ、既ニ徳川時代ニハ發賣ヲ禁ズ

ルト云フコトニマテ往々居タル品デアル、ソレ故ニ今日ニ至リマシテモ、自

然此品ハ何トナウ一般ノ人ガ卑メテ居ル品デアル、ソレ故ニ此家庭教育ト云

フヤウナコトニ心ヲ用ヒマスル人ハ、少年兒童ニ、成ルベキ斯様ナ物ヲ手遊ニ

致サセヌト云フ位、人ミノ厭シテ居ル品デアル、ソレ故ニ先づ是ハ家庭ノ遊戯

品トシテ、餘リ取扱ハヌヤウニ致シタイ、幼稚ナ時代カラスノ如キモノニ手馴

レルト云フコトハ、餘リ好マシクナイトデアル、デ此原案即チ政府案ノ説

明書ニモアル如ク、ドウモ其或ハ弊害ヲ生ジ易イ所ノ品物デアル、ソレ故ニ

是ハ先づ成ルベク家庭ニ入ラナイ位ノ所ノ限度ヲ以テ、課稅ハ高イ方ガ宜シ

イ、故ニ先づ一圓以上二圓位マデハ課シテ宜カラウト云フ御說ガ、一ツゴザ

イマシタ、又其説モ成立タント致ス位デゴザイマシタ、ソレカラ又之ヲ課稅

セヌ方ガ宜イト云フ說モ、是ハ又斯ノ如キモノニ課稅ヲスルト云フコトハ、人

ガ餘リ尊ンデ居ラナイ、寧ロ卑メテ居ル所ノ品物ニ、却テ價值ヲ附ケテヤル

ヤウナモノデアル、故ニ先づ是マデノ如ク卑シメサセテ置ク方ガ宜シ、又

一方ニハ此品ヲ製造スル所ノ職工ノ如キハ、細民社會ノ者ガ多イ、若シ之ニ
課稅ヲスルトキニナリマスルト、勢其細民ノ糊口ヲ迷ハセルヤウナコトニ成
行カントスル模様ガアル、ソレ故ニ先づドチラカラ考ヘテモ、斯ノ如キモノ
ニ課稅ヲスルコトハ、甚ダ宜シクナイカラ、寧ロ是マデノヤウニシテ置ク方
ガ宜シイ、斯ウ說デゴザイマシタ、ソレカラ又原案ヲ維持スル說モゴザイマシ
タガ、是ハ別段申シマセヌ、ソコデ又之ヲ高クスルト云フ說モイカヌ、又之
ヲ否決スルト云フコトモ宜シクナイ、故ニ是ハ矢張稅ヲ課スル方ガ宜シイ、
マシタ、ソレ故ニ先づ大體ニ附イテ決シテ、其上後トヲ能ク審議スル方ガ宜
カラウト云フノデ、大體ニ於テ骨牌ナルモノニ課稅スルノガ宜イカ、又課稅
スペカラザルモノデアルカト云フコトニ附イテ、意向ヲ定メマシタ、サウ致
シマシタ所ガ、之ニ課稅スベシト云フ方ガ多數デ、課稅スルコトニ極リマシ
タ、ソコデ愈、課稅スルト云フコトニナリマシテモ、矢張說ハ幾ツモゴザイマ
シタガ、結局是ハ從價稅ガ宜シイ、縱令課稅スルトシテモ、イキナリ大層ナ
シタ所ノ参考書ヲ見マスルト、其一ノ品ガ一組十錢位、ソレカラ一錢五厘位ノ
品マデアルノデゴザイマス、其一錢五厘ノ品ニモ原案ノ如ク一十錢ヲ掛け、又
中ニハ五十錢位ノ品ガアル、其五十錢ノモノニモ二十錢ヲ掛けルト云フコト
ハ、如何ニモ課稅ノ上ニ公平デナイ、ソレ故ニ從價稅トシテ、諸リ其値段ニ應
ジテ課稅ヲスルト云フコトガ相當デアル、ソレカラモウ一ツハ、最初ヨリ多額
ナ稅ヲ課スルト云フコトニアレバ、自然之ニ從事スル所ノ細民社會ニ、非常
ナ打擊ヲ與ヘルヤウニナシテ來ルカラ、先づ追々其後ニ殖スニモセヨ、初テ掛
ケルトキデアルカラ、最初カラ餘リ重稅ヲ掛けヌ方ガ宜シイ、斯ウ云フ說ガ
ゴザイマシタ、種々ナル議論モゴザイマシタガ、結局從價稅ト云フコトニ相成
マシタノデゴザイマス、ソコデ從價稅ト云フコトニナシテニ附キマシテ、本
案ヲ修正致シマシタノガ、斯様ナ修正デゴザイマス、此御手許ヘ上ゲテゴザ
イマスル通、原案ノ第四條中「一組毎ニ二十錢」トゴザイマスルノヲ、之ヲ「其定
價ノ百分ノ二十五」ト修正致シマシタ、サウシテ是ニ但書ヲ加ヘマシタ「但シ
稅額一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ一錢ニ切上タルモノ
トス」第十六條中「二十四時間内」ト書イテゴザイマスルノヲ、之ヲ「相當期間内」
シテ「裝置ヲ爲スヘシ」ヲ「裝置ヲ爲レ其包裏ニ定價ヲ附スヘシ」ト云フコトニ
修正致シマシタ、ソレカラ第九條中「第六條ノ裝置ヲ爲ササル」ト云フコトニ修正致シ
ルノヲ「第六條ノ裝置ヲ爲サス若クハ定價ヲ附セサル」ト云フコトニ修正致シ
マシタ、ソレカラ第十條中「第六條ノ裝置ヲ爲ササル」ヲ「第六條ノ裝置ヲ爲サ
ス若ハ定價ヲ附セサル」ト云フコトニ改メマシタ、第十五條中「相當印紙ノ貼
用ナキ骨牌ヲ讓渡シ」ノ下ニ「若ハ定價ヲ超エテ之ヲ販賣シ」ト云フ文字ガ
這入リマス、ソレカラ第十六條中「第六條ノ裝置ヲ爲ササル」ヲ「第六條ノ裝置ヲ爲サ
ス若ハ定價ヲ附セサル」ト云フコトニ改メマシタ、ソレカラ第二十
二條中「七月一日」トゴザイマスノヲ「十月一日」ト改メマシタ、是ハ法案ノ施
行期日デゴザイマス、施行期日ガ七月一日デハ、如何ニモ間ガナイ故ニ、之

キモノヲ衆議院ニ議決致スト云フコトハ、何程亂雜ナ議會、何程耻ヲ憚カラザル政府ト雖モ、出シタル政府ニ向テ忠告ヲ爲シ、受ケタル議院ヲ大ニ戒メテ、本案ヲ大ニ排斥セラレントヲ望ムノデゴザイマス。

〔大ニ然リ〕ト呼フ者アリ拍手起ル)

(田口卯吉君) 田口卯吉君

(田口卯吉演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(二百五十七番) 満場ノ諸君、唯今意外ニモ島田君ヨリ此案ニ附イテ、反對ノ御演説ガゴザイマシタガ、私ハ平素同君トハ常ニ意見ヲ同ジ

ウシテ居リマスケレドモ、此點ニ附イテハ、同君ニ向テ、反對ヲ表サナケレバナリマセヌ、又島田君ハ此骨牌ト云フモノハ、總テノ場合ニ於テ、賭博ニ用ヒフル、ト見ラレテ卑ムベキモノデアルト云フ、擯斥ノ心ヲ以テ、此案ニ

反對セラル、ヤウニ認メルノデゴザイマス、併ナガラ私共ハ決シテ此骨牌ト云フモノヲ、總テノ場合ニ於テ、賭博ニ用井ルモノト信ジマセヌ、信ジマセヌノミナラズ、或ル場合ニ於テハ、實ニ必要ナルモノト見テ居ルノデス、思フニ島田君ノ如キ高尚ナル人ニ於テハ、終日書ヲ讀ンデ心ヲ慰メルカモ知レマセヌ、併ナガラ總テノ人間ハ、サウ云フ譯ニハイキマセヌ、試ニ彼ノ船杯ニ乗シテ、永イ間航海シテ居ル人ニナッテ御覽ナサイマセ、是等ノ人ハ何ヲシテ、船ノ中ニ暮シテ居リマス、必シモ是ガ金錢ヲ賭ケルト云フ意味デハナイ、風雨ニ當テ大ニ勞力ヲシタ、其後ニ晴天ニ遭テ、何モ船ニ於テ動クコトガナケレバ、斯ウ云フコトヲシテ心ヲ慰

メルノハ、實ニ平常ノ精神ヲ改メル、所謂氣力ヲ回復スル一手段デアル、是ハ航海ニ於テ言ヒマシタガ、彼ノ下等社會ノ人ニガ、是等ノ物ヲ用ヒテヤルノハ、自分ノ精神ヲ回復スル道具デアル、故ニ若シ島田君ガ總テノ人間ハ、本ヲ讀メバ自分ノ氣力ガ回復スルト思ハレルノハ、大ナル誤デアル、社會ハ種々ノ人間ガ相集シテ、成立シテ居ルト云フコトヲ、御承知ニナラナケレバナラヌ、自分ノ嫌ナコトハ、人モ嫌デアル、禁ズルガ宜イト考ヘラレルノハ、大ナル誤デアラウト思フ、且ツ私ハ是ハ刑法ニモ關係スルコトデアル、是ハ成ルベク公ニ許スト云フ意味デナクトモデス、禁ジナイ意味ニシタイト思フノハ、

今日賭博罪ト云フ程、世ノ中ニ不幸ナル罪ハナインデ、本員ハ刑法ノ改正ニ當テハ、ドウカ無罪ニシタイト思フノデアル、今日監獄ノ内ニ這入テ居リマスル囚徒ノ四分ノ一ハ、賭博罪デアル、而シテ此賭博ヲ爲シタル人ハ、如何ナル種類デアルカト云フト、平常賭博ヲ以テ業トシテ居ル者ハ、大概此刑事巡査ト聯合ガ附イテ居リマシテ、何時モ獄ニハ這入ラナイ(高津雅雄君)ソレハ刑事巡査ガ惡ルイノダト呼フ偶ソレ等ノ者ト關係ナシニ、賭博ヲアリマスルト、直グ仲間ガ其處へ飛込シテ往シテ、賭博罪ヲ犯シタルト云フコトニシテ、之ヲ監獄ニ入レテシモノノデアル、今日監獄ニ這入テ居リマスル囚徒ノ四分ノ一、即チ國家ノ費用トシマスレバ、四百餘万ノ監獄費ノ中、百餘万圓ノ費用ト云フモノハ、此殆ド無罪ナル賭博者ノタメニ費ヘテ居ルノデアリマス、而シテ眞ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ、何時モ此監獄ニ這入テ居ラヌノデアリマス、然シテ見マスルト、此賭博罪ト云フモノハ、却テ輕キモノヲ罪ニ陥レテ、真ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ押ヘ切レズ、却テ是ガ非常ニ耀華ヲ極メ非常ニ奢侈ヲ極メテ、却テ惡ルイ者ヲ養フト云フ根據ニナルノデ

ス、併ナガラ此事ハ刑法ニ關係シマスカラ、私ハ大ニ此場合ニ於テ論ズル必要ハナイト思ヒマス、免ニ角社會ニ於ケル事情、此ノ如キモノト考ヘマスカラ、全ク一方ニ偏シテ、高尚ナル人ノ樂ムヨリ外ハ、人間社會ニ於テ樂ムモノデハナイト云フヤウナコトヲ、政府ガ斷定スルノハ、大ナル誤デアル、立法者ニ於テモ、其考ヲ以テ法律ヲ立テルノハ宜シカラヌコトデアルカラ、下等社會ノ樂ミハ、矢張下等社會ノ樂ミヲ得ルコトヲ許ス手段ヲ、求メナケレバナラヌト考ヘマスカラ、原案ヲ贊成致シマス

○島田三郎君(二十七番) チヨヅト田口君ニ質問ガアリマス

(「探決タタ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ探決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 起立者多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、二讀會ヲ開クコトニナリマシタ

○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(片岡健吉君) 骨牌稅法案

○政府委員(若槻禮次郎君) 議長

(政府委員大藏書記官若槻禮次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(若槻禮次郎君) 委員會ノ修正ノ中デ「二十四時間内」ヲ「相當期間内」ニ改メルト云フコト、茲ニ施行期日ヲ十月ニ延スト云フコト、尙水三十五年ニ限シテ十五圓ニスルト云フコトハ、政府ニ於テハ此通ニナシテ宜カラ

ウト御同意ヲ申シマス、但シ此第四條中ノ改正ニ附イテハ、ドウカ原案ノ如ク決セラレントヲ希望致シマス、其他ノ修正ハ第四條ノ修正ノ結果デアリマスカラ、自ラ原案ノ方ニ變ルコトヲ、希望致スノデアリマシテ、唯今原案ヲ維持致シマスル理由ヲ、簡短ニ申シマスガ、委員會ノ修正ニ依リマスル

ト、政府ガ當初豫期シテ居リマシタ收入ノ、凡ソ三十萬圓ト云フノガ、委員會ノ修正ノ如ク致スト、十七萬幾ラト云フ勘定ニナルヤウナ、政府ノ計算デ

ゴザイマス、即チ原案ヨリモ十三萬圓バカリ減額スルコトニナリマス、此課

稅ハ新ニ得ルノデアリマスガ、併ナガラ今日國費ノ方ニハ、必要ナ經費ガ大

分ゴザイマシテ、追ニ教育ノ事業スルニ、是等ノ費用ヲ使ハウト思テ居リマス

際ニ、此ノ如ク減額ニナリマスルト、餘程困ル場合ガ生ジマスカラ、此點ハ

矢張原案ヲ維持シテ置キマス、尙ホ定價ニ對シテ課スルト云フコトニナリマスルト、甚ダ執行上ニ不便ガゴザイマスカラ、此點カラ申シテモ、原案ノ如クナランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 東良三郎君

(東良三郎君演壇ニ上ル)

○東良三郎君(二百二十二番) 極簡短ニ一言致シマス、私ハ元來此本案ニ附

テハ、免許料ヲ千圓位取り、稅金ハ一組ニ附キ少クモ一圓位取ルノガ、適當

マスルト、直グ仲間ガ其處へ飛込シテ往シテ、賭博罪ヲ犯シタルト云フコトニシテ、之ヲ監獄ニ入レテシモノノデアル、今日監獄ニ這入テ居リマス

ラヌノデアリマス、然シテ見マスルト、此賭博罪ト云フモノハ、却テ輕キモ

ノヲ罪ニ陥レテ、真ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ押ヘ切レズ、却テ是ガ非常ニ

耀華ヲ極メ非常ニ奢侈ヲ極メテ、却テ惡ルイ者ヲ養フト云フ根據ニナルノデ

アリマス、而シテ眞ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ、何時モ此監獄ニ這入テ居ラヌノデアリマス、然シテ見マスルト、此賭博罪ト云フモノハ、却テ輕キモノヲ罪ニ陥レテ、真ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ押ヘ切レズ、却テ是ガ非常ニ

耀華ヲ極メ非常ニ奢侈ヲ極メテ、却テ惡ルイ者ヲ養フト云フ根據ニナルノデ

アリマス、而シテ眞ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ、何時モ此監獄ニ這入テ居ラヌノデアリマス、然シテ見マスルト、此賭博罪ト云フモノハ、却テ輕キモノヲ罪ニ陥レテ、真ニ賭博ヲ業トシテ居ル者ハ押ヘ切レズ、却テ是ガ非常ニ

○賛成ノ理由ハ島田君ノ説杯ト變リハナインデス、政府委員ノ述ベラレタ所ニ依レバ、此骨牌稅ハ一ノ好稅源アルカラ——好イ稅源ヲ發見シタノナルカラ、之ヲ徵收スルガ宜イト云フ御説ニアリマシタガ、是ハ大變ニ間違タ話デ、之ニ附イテハ私ハ反對スルノデス、願ハクバ此ノ如キモノニ對シテ成ルタケ多額ナ稅ヲ徵收シテ、禁止的ニ此骨牌稅ノ少數ニナツテ、社會ニ行ハル、コトガ少クナルコトヲ希望スルノテアリマス、併ナガラ委員會ニ於テ減額ノ説ガアツタ位ニアリマスカラ、之ヲ増額スルノ説ヲ茲ニ提出スルノハ、突飛ニ流ル、嫌ガアリマスカラ、姑ク一步ヲ讓ッテ、原案ニ賛成スル所ノ意見ヲ述べタイ、其他ニ色ニ議論ガゴザイマスルケレドモ、議論ハ略シマシテ、畢竟スル所委員會ノ修正ノ如クナリマスレバ、加留多ヲ賣ル者ノタメニ、彼等ノ情狀ヲ酌量シテ、他ノ品物ト同様ニ、適當ノ收稅ヲシャウト云フノデアリマスガ、委員會ノ修正ノ如クナレバ、多數ノ稅モ徵收ガ出來ズ、又弊害ヲ矯正スル目的モ達セラレズ、遺ル所ハ加留多ナルモノヲ、法律上認メテ、而ガ殘ルノデアル、故ニ田口君ノ説ノ如キモ、至極公平ノヤウデハアルガ、ソレハ正シイ品物ニ附イテ論ズルコトデ、普通ノ經濟學ノ租稅論ヲ茲ニ持出シテモイケナイ、加留多ハ不正ノモノデアルカラ、不正ノ物ニ純粹ノ理由ヲ求メルノハ、甚だ當ヲ得ナイコト、考ヘマスカラ、此場合ニハ一步ヲ讓ッテ原案ヲ賛成スル

(中村榮助君演壇ニ登ル)

○中村榮助君(七番) 諸君、私ハ元來委員長ノ報告ヲ賛成スル者デゴザイマス、唯今東君カラノ修正説モ出マシタガ、東君ノ修正説ハ、其論ハ既ニ確定シタモノト信ズルノデアル、何トナレバ之ヲ禁止的ノ意味ヲ以テ、原案ヲ贊成スルノハ、甚ダ不當デアルト思フ、ソコデ本員ガ之ヲ修正シタイト思フ點ヲ、簡短ニ述べヤウト思ヒマス、附則ノ第二十一條ノ「本法ハ明治三十五年七月一日」トアルノヲ「明治三十六年一月一日」ト修正スルコトニシタイ(ノウ)(ノ聲起ル)之ヲ修正シマスルト、從テ二十七條ト云フモノハ削ラレルノデアリマス、是ハ自然ノ結果デアリマス、チョット其理由ヲ述べマスガ、一次會ニ於テモ、種々議論ノアツ通、此製造人ハ極ク細民ガ多イノデ、尙ホ販賣者ニシテモ、細民ノ商店ニ於テ鬻イデ居ルト云フ有様デアルカラ、今之ヲ禁止稅ナリトスルモ、他ニ業ヲ移ラウトシテモ、サウ早ク移レルモノデナイカラ、相當ノ猶豫時間ガナケレバ、ナラヌト思フ、尙ホ又未製品ノヲ仕上ヲ爲シ、之ヲ賣捌クト云フコトモ、容易ク出來ルモノデナイ、之ヲ他所ニ送ルナリ、又山間僻地ノ如キニ、此法律ガ行渡ルマデニハ、相應ノ期間ヲ要スルコトデアリマスカラ、縱令金ガ減ルニシテモ、新規ニ見積ル金ガ減^シテモ、ソレハ差支ナイト思フノデアリマス、故ニ私ノ修正ニ御賛成ヲ望ミマス(賛成タク)ノウ(ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 中村榮助君ノ修正説ニ、定規ノ賛成ガアリマスカ

(無シ^シト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 定規ノ賛成ハナイト認メマス
 ○田口卯吉君(二百五十七番) チヨヅト茲ニ委員會ノ修正ノ意味ヲ述ベテ置キタウゴザイマス(モウ議論ハイラナイ)「無用々々」ト呼フ者アリ)原案ノ意味ノミヲ述べテ修正ノ方ヲ述べサセナイト云フコトハナイ
 (採決タク)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、委員會ノ修正説ニ賛成ノ諸君ハ起立者少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、原案ニ附イテ採決シマス、原案ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 起立者多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○恒松隆慶君(二百二十四番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
 (賛成タク)ノ聲起ル

○橋元勇君(百一十六番) 東君ノハ總テ原案デス

○議長(片岡健吉君) チヨヅト御説リヲシマスガ、施行期限ハ委員會ノ修正ニ意見ハアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) (總テ原案ニ決シタ) 原案タクト呼フ者アリ
 (異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 三讀會ニ移リマス

○議長(片岡健吉君) 骨牌稅法案
 第二 東京市區改正條例中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長)
 (望月圭介君演壇ニ登ル)

○望月圭介君(百九十四番) 東京市區改正條例中改正法律案ノ委員會ニ於ケル經過ヲ、御報道致シマス、委員會ニ於ケル質問及詳シキ政府委員ノ答辯ハ、シテ申述ベマセヌ、委員會ノ中ニハ安川君ノ如キ、高梨君ノ如キ、青木君、星君ノ如キ、東京市ノコトニ附イテハ、最モ精通ヲセラレテ居ル委員ガ多數デ

アグテ、其内容ニ附キ及法律運用ノ上ニ附イテハ、綿密ナル御希望モゴザイマシタガ、本案ハ東京市ガ幼稚ナル、即チ明治二十一年ニ制定セラレタル法律デ

アグテ、今日ノ發達進歩ヲシ、總テノ事業ノ多クナツタ今日ニ於テハ、此改正ハ必要デアルト云フコトデ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、尙ホ申シテ

置キタインハ、此案ガ委員ニ付託セラレタ時分ノ、東京市ノ行政及經濟ノ上ニ附イテハ、最モ悉ク調査ヲシ、意見ヲ有ツテ居ラレル所ノ田口君ノ意見セ

聞イテ見マシタガ、是モ今日ニ於テ必要ト云フコトデアリマス、斯ノ如キ次第デ

此改正ノ必要ハ、公ニ認メラレ、尙ホ政府モ之ヲ認メテ提案ラシタ次第デゴザイマスルガ故ニ、ドウゾ讀會省略ヲ以テ可決セラレンコトヲ、委員會ノ報告ニ併セテ、私ノ希望ヲ申シマス

○恒松隆慶君(二百二十四番) 委員長ノ報告通尙ホ讀會省略ニナランコトヲ望ミマス
〔贊成キタノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ヲ致シマス、委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

東京市區改正條例中改正法律案

確定議

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員長報告ノ通確定致シマス

○恒松隆慶君(二百二十四番) 次ノ日程ノ第三ト第五デアリマスガ、貴族院ニ於テモ是ハ同一ノ委員ニナツテ居リマスカラ、一括シテ議題トセラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 日程ノ第三ト第五トハ、一括シテ議題トスルコトニ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ一括スルコトニ致シマス

市町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案

第一讀會

市制町村制ニ依リ市會町村會議員選舉人ノ等級ヲ定ムル場合ニ於テ每級選舉人ノ員數ハ三名ヲ下ルコトヲ得ス

市會議員一級選舉人ノ納額選舉人總員ノ三分ノ一ヲ超過スルトキハ其ノ他ノ選舉人ノ納ムル總額ヲ二分シテ二級三級ヲ定ムヘシ

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 郡費分賦ノ件ニ關スル法律案(貴族院提出)

第一讀會

郡制第九十條ニ依リ郡費分賦ノ割合ヲ定ムルニ當リ當該年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額前年度ニ比シ四分ノ一以上ヲ増減スヘキ事故ヲ生シタル町村アルトキハ其ノ增減額ヲ扣除シタル額ヲ以テ割合ヲ定ムヘシ

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス次ハ日程第七民法中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告持田直君

第七 民法中改正法律案(持田直君提出) 第一讀會ノ續(委員長)
(持田直君演壇ニ登ル)

○持田直君(二百一番) 民法中改正法律案ニ對スル、委員會ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、是ハ委員會ヲ開クコト都合四回程デ、其間種々ナ議論モアッテ、政府委員ト相談モアグテ、其結果トシテ唯字句ノ修正ダケニ止リ、但シ

「婿養子」ト云フ三字ヲ「入夫入婿」ト云フコトニ改メタケデアリマス、委員會ニ於テ全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、ソレデ政府委員トノ折合ヲチヨウト御詫シテ置キマスガ、政府委員ハ是ニハ反對ダト云フコトアリマス、併ナガラ反對ト云フ理由ハ、極ク薄弱ア、別ニ之ヲ修正シタタメニ、他ノ法律ニ影響ヲ及ボス次第モナク、又此修正ノタメ、何等ノ不都合セ生ジナインテ、唯政府委員ノ云フニハ、我國ノ習慣ニ戾ルト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ

華族ガ爵ヲ繼グ場合ニ、男子デナケレバナラヌト云フコトト、此一ツガ反對ノ理由デアルガ、全體我國ノ習慣ト云フモノハ、悉クサウ云フモノデナイ、若シ他家へ養子ニ參シテ、其者ガ妾孫ヲ持シテ、其妾ニ出來タ子供ヲ以テ、相續サセナケレバナラヌト云フコトガ習慣ナラバ、日本ノ平民ノ習慣デハナイ、

華族トカ士族トカ云フモノノ族ニ、附イテ居ル習慣デ、平民ノ慣習デハナイ、若シ習慣デアグテモ、誠ニ已ムヲ得ナイ權道カラ出ヌモノデアル、ナゼト云フニ、族ヲ繼グニハ華族士族ヲ繼グニ必要ノタメニ、已ムヲ得ズ、ア、云フ權道ヲ設ケタモノデゴザイマセウ、ワコデ我民法ニ附イテ、血統ヲ重ンジテ居ルカト云フコトニ附イテ見ルニ、十分ニ血統ヲ重シテ居ル證據ト云フモノハ、母ノ胎内ニ在ル、即チ未ダ社會ニ生レテ居ナイ子供デモ、相續權ガアルコトヲ認メテ居ルノデ、此點ヨリモ、血族ヲ以テ相續ヲサセナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルノデ、斯ウ云フコトハ、最モ適當ノコトデアル、サウ云フ理由ヲ以テ、全會一致ヲ以テ修正通可決致シマシタ、字ガ「入夫入婿」ト改シタノミデ、意味ハ違ハナイノデスカラ、滿場一致ヲ以テ可決アランコトヲ望ミマス

○恒松隆慶君(二百二十四番) 第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、委員會ノ修正通決シマス御異議アリマセヌカ

民法中改正法律案
(貴族院提出)

第一讀會

第五 郡費分賦ノ件ニ關スル法律案(貴族院提出)

第一讀會

郡制第九十條ニ依リ郡費分賦ノ割合ヲ定ムルニ當リ當該年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額前年度ニ比シ四分ノ一以上ヲ増減スヘキ事故ヲ生シタル町村アルトキハ其ノ增減額ヲ扣除シタル額ヲ以テ割合ヲ定ムヘシ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス

民法中改正法律案

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 二讀會可決通異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) ワレデハ、確定致シマヘ、次ハ日程第八狩獵法中改正法
律案、第一續會ノ續、委員長報告、松島廉作君

第八 狩獵法中改正法律案(松島廉作君)

第一讀會ノ續(委員長)

(松島廉作君演壇ニ登ル)

○松島廉作君(二百六番) 狩獵法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シ
マス、委員會ハ一回ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ請ヒ、審議ヲ盡シマシ
タ結果、御報告シテアル如ク、修正ヲ加フベキモノナリト決議致シマシタ、其
理由ヲ少シ述ベマス、委員會ハ提出者ニ就キ此法案ノ理由ヲ承シタ所ガ、大要
アシテ、而シテ獵ノ仕方ニ依シテ、甲種乙種ノ免狀ノ區別ガアル、而シテ乙種
ノ免狀ヲ得タモノハ、年中狩獵ヲスルコトガ出來タ、乙種ト云フト銃器ノ外
員ト爲シテ調査セラレ、殆ド批難スベキ點ナキマデニ出来テ居ルガ、然ルニ唯
一つ缺點トモ申スベキハ、從前ハ狩獵ト云フモノニ、遊獵ト職獵トノ區別ガ
アシテ、而シテ獵ノ仕方ニ依シテ、甲種乙種ノ免狀ノ區別ガアル、而シテ乙種
ノ免狀ヲ得タモノハ、年中狩獵ヲスルコトガ出來タ、乙種ト云フト銃器ノ外
ノ獵具ヲ以テ、獵ヲスルモノニアル、所ガ狩獵法改正以來、職獵遊獵ト云フ
區別ハ勿論ナラヌ、又甲種モ乙種モ區別ナク、矢張一定ノ期間ノ外ハ、狩獵
供シ或ハ剝製ニシテ、海外へ輸出シテ、營業ト致シテ居リマシタモノガ、餘
程アリマシタノデアリマス、所ガ前申上ゲル通、狩獵ノ期間ヲ一定シテ、北
海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月十五日、内地ニ於テハ十月十五日ヨリ
翌年四月十五日マデノ外ハ、一切狩獵スルコトガナラヌト云フコトニナリマ
シタメニ、唯今申上ゲマシタ如ク、狩獵期間ノ外ニ於テ參ル鳥ニ就イテ
ハ、狩獵スル時期モナク、又サウ云フ營業ヲスルモノハ、全クソレヲ離レナ
ケレバナラヌト云フコトニナリマシタ、其一二ノ例ヲ舉ゲマスレバ、靜岡縣
下、宮城縣下、千葉縣下等ニ於テ、夏ノ間エ捕ヘマスル所ノ千鳥、是ハ其參ル時
期ハ至テ短イモノデアリマシテ、參リマスルトキニハ千百群ヲ成シテ來ルト
云フコトデ、ソレヲ捕ヘテ剝製ニシテ、海外へ輸出致シテ居リマシタノデア
リマス、ソレカラ、又日光ノ山中ニ於テ捕ヘマス岩燕、是モ其一地方ニ於キ
シテハ相當ノ產額デアリマシテ、一万圓以上ニモ達スルト、云フノデアリマ
ス、所ガ是等ハ皆狩獵期間ニシカ居ラナイ鳥デアリマスカラ、全ク之ヲ捕フル
コトガ出來ヌ譯ニナシクノデアリマス、此他秋田地方ニ於キマシテハ、或ハ一
種ノ鶴ノ如キハ、是ハ剝製ニスルモノデナク、食用ニスルモノデアリマスガ、
狩獵期ノ外デナケレバ參リマセヌ、サウ云フ譯デ、議案提出ノ意味ハ唯フレ

第三讀會

等ノ鳥ヲ捕ヘテ生計ト致シテ居ルモノノ、職業ヲ奪ヒタクナ、從前ノ如
クニ營業ヲ繼ゲシメタイト云フノ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、ソコテ政府
委員ニモ、段々質問ヲ致シテ見マシタ所ガ、政府ニ於キマシハ、狩獵期間ヲ
延シテ、サウシテ狩獵ヲ許スト云フコトハ、第一ニ此狩獵法ノ精神ニ反スル

コトデアルカラ、斷然ソレハ出來ヌト云フコトデアリマシタ、然ラバ其他ノ
方法ニ於テハ、ドウデアラウカト云フコトヲ問ウテ見マシタガ、是レ亦明ニ
同意ヲ表スルト云フコトハ、申述ベヌノデアリマス、サリナガラソレ等ノ鳥
ヲ捕ヘテ生業トスルモノ、タメニハ、誠ニ氣ノ毒デアルト云フ感ヲ以テ、嘗
テ農商務省ニ於テ、ソレ等ノタメニ途ヲ開ク方法ハアルマイカト云シテ、研究
ヲシテ見タコトガアルト云フコトヲ、詳シク話サレマシテゴザイマス、是ニ
於テ委員會ニ於キマシテハ、斯様ニ御手許ニ回シテアリマス通ニ、修正ヲ致

シマシタノデアリマス、其修正ノ趣意ト申スモノハ、狩獵期間ノ外ニ於テ
種ノ鳥ヲ捕ヘヤウトスルモノガアレバ、地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ得
シテ、特ニ之ガ許可ヲ與フルコトヲ得ルノデアリマシテ、決シテ狩獵期間ヲ延
シテ、今マテ與ヘテ居ツタ免狀デ、狩獵サセルト云フ譯デハナイ、サウ云フ特
種ノ鳥ヲ捕フルト云フモノニハ、特別ニ免許ヲ與フルコトヲ得ルト、斯様ニ
修正ヲシタノデアリマシテ、此特別ニト云フコトニ附キマシテハ、委員會ノ
意志ハ、先づ第一ニ如何ナル鳥ヲ捕フルト云フ、鳥ノ種類ヲ指定スルト云フ
コトハ、無論必要デアルト思ヒマス、農商務大臣ニ於キマシテ、其指定サレ
ル鳥ダケニ附イテハ、許シテ捕獲セシムル、無論ソレハ鳥ノ種類ヲ制限スル
ト云フ考ヲ持ツテ居リマス、而シテ其次ニハ地區ヲ限リマス、廣イ一縣トカ
郡ト云フモノデナク、其鳥ノ來ル場所ガ定シテ居リマスカラ、何村ノ何番地、何
村ノ何字トカ云フ如キ、其鳥ヲ捕フル場所ノ地區ヲ限りマスルト云フコト、ソ
レカラ又一定ノ時ヲ限りマスコト、大抵極リガアリマスカラ、何月幾日ヨリ
トガ、含マレテ居ルノデアリマス、目下狩獵法ノ第十八條ニ依シテ、特別ノ狩
獵ヲスルモノニ對シテハ、農商務省ニ於テ、左様ナ嚴格ナ取締法ガ出來テ居
リマシテ、ソレニ依シテ許シテアルノデアリマス、併ナガラ第十八條ニ依リ
マシテ、學術ノタメ又ハ其他ノ理由ニ依リテ捕ヘマスモノハ、賣買ヲ許シテ
トガ、含マレテ居ルノデアリマス、目下狩獵法ノ第十八條ニ依シテ、特別ノ狩
獵ヲスルモノニ對シテハ、農商務省ニ於テ、左様ナ嚴格ナ取締法ガ出來テ居
リマシテ、斯様ナル取除ヲ加ヘルノデアリマス、而シテ第十八條ニ依シテ捕ヘマス
モノハ、免許料ヲ納メナイト云フコトニナシテ居リマスガ、唯今茲ニ修正ヲ
加ヘマス一種ノ狩獵ニ對シマシテハ、矢張第十一條ニ規定シテアリマスル通
スルガ、サリナガラ之ヲ以テ生計ヲ營シテ、今日ヲ送ツテ居ル者ガアルノデア
リマスカラ、ドウゾ此本案ノ趣意ヲ容レラレマシテ、御贊成アラシコトヲ希
望致シマス、併テ相成ルベクハ、會期モ切迫致シテ居リマスカラ、讀會ヲ省
略シテ、確定セラレシコトヲ希望致シマス

ス、本案ハ不動産登記法中ノ三十一條ニ「若クハ公署ト云フ數文字ヲ、三十
一條ノ各項ニ挿入スルト云フ改正案デアリマシテ、頗ル簡明ナ案デアリマス
ル、此不動産登記法中ニ、公署官廳若クハ公署ノ權衡ヲ失シテ居ルモノデアリマス
ナツテ居ルノデアリマス、然ルニ此二十一條ノ權利收得ノ場合ニ於テノミ、囑託
登記ガ公署ト云フ分ニハ出來ヌ、公署ト云フ字ガナインテゴザイマス、是
ハ官廳ト公署ノ權衡ヲ失シテ居ルモノデアリマスル、獨リ權衡ヲ失スノミナ
ラズ、明治三十三年法律第四十號ヲ以テ、登錄稅中ノ十九條ノ第二項ガ、改
正ニナツテ居ルノデゴザイマス、此第二項ハ公立學校病院養育院ト云フヤウ
ナモノ、登記ハ、無稅デスルト云フコトデアリマシタモノヲ、郡市町村ト云
フコトニ改正ニナツタノデゴザイマス、デ此點カラ考ヘテ見テモ、甚ダ三十
一條ノ場合ニ囑託登記ヲ許サナイト云フコトハ、頗ル權衡ヲ失シテ居ルト思
ヒマスル、故ニ官廳ト公署ノ權衡ヲ得セシメ、又不動産登記法ト登錄稅トノ
釣合ノ宜シキヲ得セシムルト云フ、簡単ナ案デゴザイマスドウカ、御賛成ア
ランコトヲ……

○恒松隆慶君(二百二十四番)是ハ曩ニ不動産登記法ノ委員ガゴザイマス
ル、ドウカ其委員ヘ付託ニナランコトヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
致シマス 大瀧傳十郎君

(「異議ナント」呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、議事日程ノ第十三新
潟縣下町村分合處分ニ附キ内務大臣ノ監督ニ關スル建議案議案ノ朗讀ヲ省略
右建議ス

(大瀧傳十郎君演壇ニ登ル)

(「問題ガ長イカラ 説明ハ簡短ニト呼フ者アリ」)

○大瀧傳十郎君(十八番) 此建議案ハ、新潟縣下町村分合處分ニ就キ内務大臣ノ監督ニ關スル建議案デ、極單簡ナル建議案デゴザイマスルガ、此新潟縣ノ町村分
合ノコトニ附キマシテハ、新潟縣下ノ一大問題ト爲シテ居リマスルノデ、既ニ
諸新聞ニモ此事ハ掲載アリマシタノデ、諸君ノ御耳ニモ十分達シテ居リマス
ノデアリマシテ、此事ニ附キマシテハ、既ニ内務當局者ヘモ質問ヲ致シマシ
タケレドモ、甚ダ要領ヲ得マセヌノデ、已ムヲ得ズ議院法ノ第五十條ニ依ツ
テ、此度此建議案ヲ提出致シマシタルヤウナ次第デゴザイマスルガ、全體此知
事ノ稟請ニ附キマシテハ、甚ダ縣下ノ事情ト相違背シテ居ル所ノ場合ガ、澤
山ゴザイマスノデアリマス、故ニ此内務大臣ガ縣知事ノ稟請ニ附キマシ
テ——其當時ノ縣知事ノ言葉ニ附キマシテモ、決シテ此町村分合ニ附キマシ

テハ、決シテ異議ハナイ、又縣知事ガ責任ヲ帶ビテ、此町村分合ハ好結果ヲ得ル積デアルト云フノ、縣知事カラ答辯ヲ致シテ置キマスル場合モゴザイマス、是等ハ全ク縣下事情ト、縣知事ノ上申ト、相違背シテ居リマスル所ノ場合ガ、澤山ゴザイマスノデ、今日デモ數百箇村以上ノ不服ガアツテ、未ダ其事務ノ引繼モ出來ナイト云フヤウナ、實ニ非常ナル有様ヲ呈シテ居リマスルニモ拘ラズ、内務當局者ニ於キマシテ、是等ノ監督ガ甚ダ居カヌノデアラウデハアリマセス、諸君モ宜シク是等ノ事情ヲ御考ヘ下サレテ、十分ニ此縣治上ノコトニ附キマシテハ、内務大臣ガ責任ヲ以テ此監督シナケレバナラヌト云フコトガ、目下ノ必要ナル是ハ問題デアルト云フノデ、斯ノ如キ建議案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、故ニ今日ハ、議會切迫ノ場合、デアリマスカラ、即時時はハ決議アランコトヲ、偏ニ希望致スノデアリマス

○工藤行幹君(百三十八番) 質問ガアリマス——此事ノ當不當ハ姑ク差置キマシテ、全體此事ニ附イテハ、先達以來再三質問書ヲ御提出ニナツタト思ッテ居ル、而シテ内務大臣ハ之ニ對シテ——内務大臣バカリデハナイ、政府カラノ答辯ニハ、内務大臣ノ遺ヅタコトハ、至當アアルト云フガ如キ答辯ガ出テ居ルト思ヒマス、然ラバ政府ガ不當デナイト思フモノニ對シテ、又コチラカラ建議ヲ出スト云フテ見タ所ガ、何ノ效ガアルマイト思フ、愈々内務大臣ノ處置ガ不當デアルト極メルナラバ、或ハ之ヲ彈劾シナケレバナラヌ、或ハ上奏シナケレバナラヌト云フコトハ、當然デアラウト思フガ、向フカラ内務大臣ノヤツタコトハ、敢テ不當デナイト云フテアルモノヲ、又コチラカラ建議ヲスルト云フコトハ、何等ノ考ガアルノデアリマスカ、却テ私ハ議院ノ體面ニ係リハシナイカと思フ

○大瀧傳十郎君(十八番) 御答シマセウ、内務大臣ハ唯縣知事ノ上申ヲノミ採シテ、正當トシテ居ルノデアル、ソレハ甚ダ新潟縣下ノ事情ヲ知ラヌノデアル、宣シク内務大臣ガ實際ニ就イテ調査シタナラバ、果シテ此町村分合ト云フモノガ、當ヲ得テ居ルヤ否ヤ、斯ウ云フコトハ實際ノ調査シタ後ニ分ルノデアル、併ナガラ吾々町村分合ト云フコトハ、私一己トシテハ甚ダ宜イコトデアルト信ズル、宜イコトデアルガ、其分合ノ町村分合ノ仕方ニ依リマシテハ、甚ダ不都合ノ所ガ澤山アルノデ、今日ハ隨分不服ガ澤山ニ出テ、居ル、無理ヤリニシナケレバナラヌト云フコトハ、何處ニ理窟ガアルカ分ラヌ、大臣内務大臣ガ十分ニ地方ニ就イテ調査ヲシタナラバ、此事ハ明ニ分ルノデアル、唯知事ノ一言ヲ聞イタノミデハ甚ダ是ガ間違ツテ居ルノデアル

○工藤行幹君(百三十六番) 是ハ成ル程最初内務大臣ハ、全ク知事ノ一言ヲト云フコトヲ、自白シタ以上ハ、惡ルイナラバ、之ヲ彈劾シナクチヤアナラヌ、此事ハ當リ前デアル、惡ルクナイト云フ其者ニ對シテ、又建議ヲスルトモ當議會カラ既ニ——議會ダヤアナイケレドモ、質問書ヲ提出シ、議會ニ

ル以上ハ、彈劾的ノコトヲ遺ルト云フマダニ進ムナラバ免モ角、唯之ヲ建議スルト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ナイト思フ

○高須賀櫻君(十二番) 唯今發議者ハ即決ト云フコトデアリマシタガ、本案ハ隨分疑ハシイ點モアリマスカラ、矢張委員付託ト云フコトガ、相當ダラウト思ヒマス

○恵松隆慶君(二百二十四番) 即決ヲ願ヒマス、誠ニ當然ノ建議案デアリマス

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ採決ヲ致シマス、本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、議事日程ノ第十四、議案ノ朗讀ヲ省略ヲ致シマス、野尻岩次郎君

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、議事日程ノ第十四、議案ノ朗讀ヲ省略ヲ致シマス、野尻岩次郎君

第十四 角倉了以勳功追表ノ儀ニ關スル建議案(小松喜平治君)

角倉了以カ夙ニ外國貿易ニ從事シ安南等ニ於テ大ニ我國光輝シ殊ニ慶長以降我國水理ニ其ノ心ヲ用井京都大堰川高瀬川及駿州富士川等ニ舟楫ノ便ヲ創開セシ功績ハ世人ノ公認セル所ナルニ明治維新ノ際其ノ子孫カ繼承レ來レル特典利益等ハ一切廢絶セラレタリ抑維新ノ宏謨ハ是等舊功偉勳ヲ旌表シ以テ將來ヲ獎勵セラルニ在リ故ニ角倉了以ノ子孫ニ對セシ維新ノ處分ニ就テハ世人或ハ惑フトコロナキニアラス然ルニ今ヤ他ノ舊勳偉功アリタル者夫々相當ノ恩典ニ浴セサルハナシ而シテ本年ハ角倉了以歿後三百年ニ相當スルヲ以テ了以カ遺績ニ感スルモノ其ノ祭典ヲ行ハムトス依テ政府ハ了以ノ遺績ニ對シ應當ナル追表ノ典ヲ與ヘラレムコトヲ望ム右建議ス

(野尻岩次郎君演壇ニ登ル)

○野尻岩次郎君(百三番) 諸君、角倉了以、此人ハ唯今ヨリ三百年以前、寛永慶長ト云フ年代ノ人テゴザイマシテ、此人ノ履歷ハ、近頃小學校ノ教課書杯ニ、大抵採用シテゴザイマシテ、彼ノ教育勅語ノ世務ヲ開キ公益ヲ起スト云フヤウナ箇條ニ附キ、教育ノ材料トシテ、採用サレテアル人デゴザイマス、ト云フヤウナ箇條ヲ以テ、申上ゲルノデハナイ、唯是マテ是等ノコトハ處分シテ又過日地方ノ有志家ガ、此了以ノ履歷ヲ書イタ一枚ノ刷物ヲ、諸君ニ御配付シテ居ゞヤウデアルカラ、諸君ノ中ニハ或ハ一讀ノ勞ヲ執ラレマシタ御方モアルカト信シマス、何分ニモ今日ヨリ三百年前、即チ徳川將軍全盛時代ニ於テ、苟モ腕前アル人間ハ、皆軍學兵法ト云フヤウナ道ニ於テ、富貴利達ヲ求メタ世ノ中デアル、其時分ニ於テ、翁ハ呂宋安南ト云フヤウナ所ニ向づテ外國貿易ヲ試ミ、又内地ニ於テハ富士川、天龍川若クハ大堰川、高瀬川ト云フヤウナ、疏水工事ニ盡力ヲシタト云フヤウナ、餘程一頭地變ツタ人デアッタト云フコトハ、明ナコトデゴザイマス、而シテ此了以ハ私費ヲ以テ、水理運河ノコトヲ計畫シタ報酬トシテ、當時ノ徳川政府ヨリシテ船役ト云フモノノ時代ニコトヲ計画シタ報酬トシテ、當時ノ徳川政府ヨリシテ船役ト云フモノ船舶ノ入港料ヲ取シテ居ルト云フヤウナモノデゴザイマシテ、即チ此角倉

家ト云フモノハ、大堰川、高瀬川ノ船ノ運送ヲ掌シテ、其船カラ上ル手數料ヲ徵收スル權利ヲ持シタノデアル、ソレハチヨット千石程ノ收入デ、事務員モ十五人使ヒ、船頭モ六十人餘使役シテ居ツテ、旗本格ニ取扱ハレテ居ツタノデアル、ソレガ御維新ノ際ニ於テ、徳川政府ノ持ヘテ居ツタ特權若クハ利益ト云フヤウナモノハ、彼是其事情ヲ斟酌スル暇ナクシテ、盡ク之ヲ廢滅セシメタノデアル、故ニ今日今角倉家ノ衰微ヲシテ居ルト云フモノハ、此子孫ガ勉強致サナイ罪モ、固ヨリアルテハゴザイマスガ、又此特權ノ利益ト云フモノヲ、一時ニ取上げタト云フコトガ、其重ナル原因ト云フコトハ、明ナルコトデゴザイマス、今日此特權ノ義務ノヤカマシイ時代ニ於テハ、ル運河會社若クハ築港會社ニ、國家ガ何等ノ報酬モセズシテ、其船舶ノ入港料ノ特權ヲ、一時ニ取上げルト云フヤウナコトハ、今日ニ於テハ、ナイトト云フヤウナコトハ、是ハ即チ御維新ノ御政治ニ於テ、公益アル人ノ舊勳偉功ヲ旌表シテ以テカラニ、後世子孫ノ獎勵トスルト云フコトノ方針トハ、如何デアラウカ、是等ハ必ズ國家ノ恩典ニ浴スペキ人デアル、又子孫モ相當ノ恩惠ヲ受クベキモノデアラウト信ジマスル、今日聖世ノ御世ニ於テ、苟モ國家ニ功勞アル人、悉ク是ハ相當ノ表彰ヲセラレ、又其子孫ニ於テモ相當ノ恩澤ニ霑ウテ居ルニ、此角倉家ニ於テ、今日未ダ何等ノ詮議ニ與シテ居ラヌト云フノハ、實ニ此聖代ニ於テ、御恩澤ノ一部分ガ、未ダ普カラザル所ガアルデアラウカト、竊ニ地方ノ者ハ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、幸ニ今年ハ此角倉了以沒後、三百年ニ相當致シマスルノデ、地方ノ有志家ハ此了以翁ノ遺績ニ感シテ、相當ナル祭典ヲ行ハントシテ居リマスル際デゴザイマスカラシテ、政府ハ何卒相當ナル調査セラレテ、從來是等ノ舊勳偉功アル人ニ對シテ、處分セラレタ所ノ先例ヲ參照セラレマシテ、相當ナル追表ノ恩典ヲ與ヘラレタイ、ソレハ今或ハ贈位ヲシテ貰ヒタイトカ、或ハ金錢ヲ賜リタイセラレタ所ノ先例ハ、幾ラモアルカ知ラナイカラ、其先例ニ依シテ相當ノ處分ヲシテ貰ヒタイ、即チ私共ノ選舉區ハ、此翁ノ遺績ニ依シテ、非常ナ利益ヲ得テ居ル、私共ノ地方ニ於テ年々材木ヲ京都若クハ大阪ニ輸出スル所ノ金額ハ、一箇年約五十萬圓デゴザイマスガ、全ク此了以翁が此山城丹波ノ間ニ跨ル所ノ大堰川ノ船路ヲ開鑿シテ吳レタガタメニ、是ガ開ケテ居ルノデゴザイマス、私ハ喜デ此提出者(恵松隆慶君)ドウカ委員付託ニナランコトヲ望ミニマス」ト呼ヒ「贊成々々」ト呼フ者アリ)提出者タルコトヲ、承諾致シマシタゴザイマス

○小田貫一君(二百十二番) 宮内省ニ建議スルノデスカ

○野尻岩次郎君(百三番) 政府ニ建議シテ、ドウカ相當ナル取調ラシテ貰ヒ

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ同意ガアリマスガ、御異議アリマセヌ

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ニ、御異議アリマセヌカ
○議長(片岡健吉君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、一括シテ議題トナサン
マス

- 第十五 (特別報告第一二十一號) 富山直江津間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
 第十六 (特別報告第一二十二號) 特別地價修正ノ請願 (委員長報告)
 第十七 (特別報告第一二十三號) 留萌鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
 第十八 (特別報告第一二十四號) 別子銅山新居濱鑛爐移轉ノ請願 (委員長報告)
 第十九 (特別報告第一二十五號) 羽越鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
 第二十 (特別報告第一二十六號) 鑛毒蠶業被害救護ノ請願 (委員長報告)
 第二十一 (特別報告第二十七號) 地價再修正ノ請願 (委員長報告)
 第二十二 (特別報告第二十八號) 賣藥規則改正ノ請願 (委員長報告)
 第二十三 (特別報告第二十九號) 北海道鐵道天鹽北見線工事速成ノ請願 (委員長報告)

○菅原傳君(二百七十九番) 簡短ニ御報告致シマスル、日程ノ第十五ハ富山直江津間鐵道速成ノ件デアリマス、是ハ報告書ニモ既ニ記載シテアリマスル通、此商業ノ發達ニ連レテ、運輸交通ノ機關ヲ十分ニ設備センケレバナラヌト云フコトハ、當然ノコトデアルガ、此富山直江津間ノ距離ハ僅々七十哩ノ所デアルニモ拘ラズ、此北陸地方貨物聚散上、重大ナ關係ヲ有シテ居ル所デアルカラシテ、是非此間ニ鐵道ヲ急ニ敷設スルコトガ、必要デアルト云フコトニ附イテ、此請願デアリマスガ、吾共ニ於キマシテモ、相當ト認メテ、此請願デアリマスガ、是ハ三重縣ノ五ヶ谷赤生ト云フ二箇村ニ關スル請願デアリマスガ、此二箇村ハ舊幕時代ニハ其地方ノ土地灌漑ノタメニ、檜田川ノ上流ニ非常ニ大キナ井堰ヲ設ケテ、ソレヨリ水ヲ引イテ、田畠ノ水利ヲ取シタ云フコトデアリマスガ、此堤防ナリ或ハ井堰ナリヲ修築其他ノ費用ハ、舊藩主ヨリ費用ヲ出シテ居シタ云フコトデアリマスガ、其後明治ノ世ノ中ニナツテ、地租改正ノ場合ニ、此舊慣ヲ打破シテ、皆是等修築ノ費用ハ、人民ガ負擔スルコトニナシテアルタメニ、其費用ニ對スル負擔が非常ニ多クナツテアッタノダガ、三十一年ノ地價修正ノ場合ニモ、特別ノ恩典ヲ蒙ルコトナク、修正ガアッタケレドモ、地租ノ増徵モアッタ、殆ド恩典ガアレドモ無キガ如ク、地價ノ

如キモ一段六十八圓以上デアル、然ルニモ拘ラズ非常ニ此水ヲ引クタメニ費用ガイル、斯ウ云フ非常ナル苦境ニ人民ガ陷シテアルカラシテ、特別ニ地價ノ修正ヲ願ヒタイト云フ趣意デアリマシテ、是レ亦相當ト認メマシテ、探擇シタノデゴザイマスル、其次ハ留萌鐵道敷設ノ件デアリマスガ、是ハ既ニ報告書ニモアリマスカラ、特別ニ申シマセヌガ、留萌ハ上川線路ノ深川ヲ距ル、僅カ一十九哩デアッテ、天然ノ良港モ有シテ居ル所デアリマスル故ニ、茲ニ支線ヲ急設スルコトハ、最モ必要ト思ヒマスルノテ、請願者ノ希望ヲ探擇シタノデアリマスル、十八別子銅山新居濱熔鑛爐移轉ニ關スル件デアリマスガ、別子銅山ノ鑛業ノ熔鑛爐ハ、新居濱村ト云フ所ニ在ルノダサウデアリマスガ、此溶鑛爐ノ噴煙ガ其地方ノ農業ニモ非常ナ害ヲ爲シテ居ル、殊ニ其熔鑛爐ガ漸々増シタニ、從テ其害モ多クナルト云フコトデアル、且ツ又數年ニ前ニ強風兩ガアツタメニ、此溶鑛爐近傍ノ堤防ガ崩レテ、非常ニ其近傍ニ危害ヲ與ヘタニメニ、政府ニ於テモ此溶鑛爐ヲ他ニ移轉スルコトノ命令ヲシテ居シタト云フノデアル、又地方ノ愛媛縣ノ縣會ニ於テモ、此熔鑛爐ノ移轉ノ建議シテアル、斯ウ云フ譯デ、一時此溶鑛爐ヲ、四阪島ト云フ所ニ移轉スルト云フコトガ、決定シテアツタノデアルガ、昨年七月ニ至ツテ、政府ハ此鑛主ノ住友ノ請ヲ容レテ、此移轉ノコトヲ數年間延期スルコトニシテアルト云フノデアリマス、然ルニ此地方人民ハ、ソレデハ甚ダ不都合デアル、地方ノ危害ト云フモノハ大ナルモノデアルカラ、是非此移轉ヲ急速ニ爲シテ吳レロト云フ請願デアリマスガ、私共相當ト認メテ、此請願ヲ容レタ譯デアリマス、其次ハ羽越鐵道速成ノ件デアリマスガ、此請願者ノ希望ハ、羽越鐵道、大體デアリマスルガ、殊ニ此新潟縣ノ新發田ヨリ、山形縣ノ米澤ニ至ル工事ニ附イテ、急速ニ起工ヲ希望スルト云フノ請願デアリマス、此線路ハ既ニ豫定線ニモナツテ居リマスシ、運轉交通ノ點カラ見テモ、亦軍事上カラ見テモ、最モ必要ナ線路ト私共モ思ヒマシタ、故ニ此請願ヲ採擇シタ譯デアリマス、其次ハ鑛毒蠶業被害救護ノ件ト云フノデアリマス、此鑛毒大體ノ請願ニ附イテハ、前ニモ大要同シヤウナ請願ガゴザイマシタガ、此請願中ニ殊ニ希望スル所ハ、此蠶業デアリマス、蠶ニ害ガアル、桑ニ害ヲ來ス、其局蠶ニ害ヲ及スカラ、殊ニ此害ヲ除クヤウニシテ願ヒタイト云フ請願デアリマシテ、是レ亦採擇シタ譯デアリマス、其次ハ地價再修正ノ件、是ハ多少請願會デモ議論ガゴザイマシタガ、其要點ヲ申シタ河邊郡ノ標準デナク、有馬郡ノ標準ニ依テ地價修正ヲセラレタタメニ、シマスレバ、兵庫縣ノ有馬郡高平村ノ地價ニ附イテノ請願デアリマス、此高平村ト申スノハ、元來ハ河邊郡ノ一部デアツタサウデアリマスガ、明治二十九年ニ有馬郡ニ編入セレタノデアル、デ三十一年ノ地價修正ノ場合ニ、元ト屬シタ河邊郡ノ標準デナク、有馬郡ノ標準ニ依テ地價修正ヲセラレタタメニ、恩澤ガ少イ、有馬郡ニ編入セラレタタメニ、河邊郡ト均一ノ恩澤ヲ受クルコトガ出來ヌ、是ハ畢竟河邊郡カラ去シテ、此有馬郡ニ編入セラレタタメニ、此不幸ヲ見タノデアルカラ、ドウカ前ノ郡ノ通ニ恩典ヲ受ケタイト云フ請願デアリマス、大分議論モゴザイマシタケレドモ、吾々委員會ノ多數ハ、此請願ヲ容レタ譯デゴザイマスル、其次ハ二十二デアリマスガ、賣藥規則改正ノ件、是ハ其賣藥ガ今日モ非常ニ需要ガ多イノデアリマスルガ、將來モ一層需要ガ多クナルデアラウト、就テハ是ハ十分取締ラレルガ相當デアルカラ、將來ハ

賣藥ヲ總テ此藥劑師ノ手ヲ經テ、藥劑師ノ調剤ニナルモノヲ賣ルト云フコトニシタイト云フノアル、サウンテ此請願會デノ決定ノ趣意ハ、過去ニハ及

バナイ、將來總テ賣藥ハ此藥劑師ノ手ヲ經テ、調剤シタモノノテナケレバ、發

賣スルコトガ出來ヌト、斯ウ云フ趣意ヲ以テ、此請願ヲ採決シタ譯デゴザイ

マスル、其次ハ北海道鐵道天鹽北見線工事成ノ件デアリマスガ、是モ既ニ

報告書デ十分分ル思ヒマスルガ、初メ義ニ此政府ハ北海道鐵道敷設法ヲ制

定シテ、其時分ニ殊ニ此幹線トシテ、重ナルモノ二三ヲ極メテアルカラ、其他ト

云フモノハ、十勝鉄路線デ、一ツハ天鹽北見線デアリマスガ、十勝鉄路線ニ

於テハ、十分政府モ今日着手モシ、漸々其工事ヲ急ギツ、アルニモ拘ラズ、

此天鹽北見トシテハ小部分ノミ起工シテ、其後中止ノ姿アルカラ、十勝鉄

路線ト同様ニ天鹽北見線モ、駿速ニ尙ホ此工事ヲ進工スルヤウニ希望スルト

云フ請願デアリマシテ、是モ相當ト認メマシテ探擇シタ譯デアリマス

○恵松隆慶君（二百二十四番）委員長ノ報告通、探擇ナランコトヲ希望致シ

マス
○議長（片岡健吉君）委員長報告通、御異議ハアリマセヌカ

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長（片岡健吉君）御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
不要存置林緣故拂下方法ニ關スル建議案

提出者 西村 真太郎君 天野 若圓君 雨森 菊太郎君

漁業船舶法案 提出者 加藤 政之助君 小崎 義明君 平岡 萬次郎君

民法中改正法律案 提出者 安部井 磐根君 井上 角五郎君 白井 哲夫君

提出者 天野 若圓君 小崎 義明君 平岡 萬次郎君

委員長理事左ノ適當選セラレタリ

酒類造石稅納期ニ關スル建議案 提出者 加藤 金井 貢君

戶籍法中改正法律案 提出者 加藤 六藏君

營業稅法中改正法律案 提出者 加藤 宮原 幸三郎君

委員長理事左ノ適當選セラレタリ

市會町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案外一件 提出者 加藤 稲垣 示君

委員長 指定スル左ノ如シ 提出者 加藤 井手 毛三君

市會町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案外一件 提出者 加藤 藤野 長次郎君

酒造稅法中改正法律案 提出者 加藤 井手 毛三君

市會町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案外一件 提出者 加藤 稲垣 示君

市會町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案外一件 提出者 加藤 井手 毛三君

佐治 幸平君 機部 八五郎君 安部井 鏡根君

角倉了以勳功追表ノ儀ニ關スル建議案 中村 榮助君 西村 淳藏君 片岡 久一郎君

吉岡 直一君 武石 敬治君 石原半右衛門君 永田 佐次郎君

〔スルコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス〕

午後三時三十七分散會

星野甚右衛門君 吉岡直一君 石原半右衛門君 雨森菊太郎君

〔スルコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス〕